越前町体育施設
個別施設計画

令和７年４月

越前町

目　次

第１章　越前町体育施設個別施設計画策定の背景・目的・位置付け・・・・・・・・・・・１
　１．策定の背景と目的
　２．越前町公共施設等総合管理計画の概要
　３．越前町体育施設個別施設計画の位置付け

第２章　越前町体育施設個別施設計画の対象施設、計画期間・・・・・・・・・・・・・・４
　１．越前町各体育施設の概要
　２．対象施設の類型、一覧表
　３．計画期間

第３章　各体育施設の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
　１．施設概要および人口の推移と将来推計
　２．施設利用状況
　３．財政状況
　４．各体育施設の施設維持管理経費の推移

第４章　対策の優先順位の考え方および評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
　１．簡易劣化調査の実施結果
　２．優先順位の考え方および評価
　３．現況劣化度および重要度、建物劣化度
　４．総合劣化度

第５章　対策内容と実施時期（実施計画）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
　１．対策の基本方針
　２．対策費用および効果、工程表

第６章　今後の対応方針等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
　１．今後の対応方針
　２．計画のフォローアップおよび実施体制

第１章　越前町体育施設個別施設計画策定の背景・目的・位置付け

１．策定の背景と目的

（１）背景

本町は、平成 17 年 2 月に合併し、旧町村で保有していた公共施設やインフラ施設を引き継ぎ、また多種多様な町民のニーズに対応しながら行政上の必要性を考え、庁舎や学校、生活インフラ等を整備してきました。

しかし、その多くは用途目的の重複したものや老朽化が著しいものも数多くあり、今後、大規模改修や建替えなど多額の費用が必要となると考えられています。更に、急速に進む人口減少や超高齢化社会の進行、普通交付税の減少による財政状況の圧迫など、公共施設等の維持管理や改修・改築費用が他の行政サービスに重大な影響を及ぼすことが懸念されています。

そういった中、総務省からの通知「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」（平成 26 年 4 月 22 日付総財務第 75 号自治財政局財務調査課長通知）により、地方公共団体が所有する公共施設等について、長期的な視野を持って「更新・統廃合・長寿命化」の対策を計画的に行うことで、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を進めるため、平成 28 年 7 月に「越前町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

また、「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」（平成 29 年 3 月 23 日開催）において、令和 2 年度までのできるだけ早い時期に「個別施設毎の長寿命化計画（以下、「個別施設計画」という。）」を策定することとされたところです。

（２）目的

「越前町体育施設個別施設計画」は、前述の背景を踏まえ、長期的な視野を持って「更新・統廃合・長寿命化」の各種対策を計画的に行うことにより、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図り、「越前町公共施設等総合管理計画」の目標達成のため策定しました。

２．越前町公共施設等総合管理計画の概要

越前町公共施設等総合管理計画は、最上位計画である「越前町総合振興計画」と整合性を図りながら、本町全体の公共施設等の管理の方向性を示した行動計画として位置付けられています。

また、個別に策定されている施設ごとの維持管理や長寿命化に係る方針や計画等とも整合性を図った上で、見直しをかけていくこととしています。

総合管理計画では、以下の取組方針及び実施方針により、公共施設等の整備、維持管理及び運営に取り組んでいきます。

取組方針

①保有量の最適化

持続可能な自治体経営を見据え、施設の機能はできる限り維持しながら施設の総量を減らしていくことを前提として、規模の最適化や機能の複合化、用途の転換、民間への移譲、売却など、公共施設の再編・再配置による保有量の最適化を図ります。

②計画的な保全による長寿命化の推進

従来の故障や不具合などが生じてから修繕を行う考え方（事後保全）から脱却し、点検・診断結果をもとに劣化の進行を監視し、異常が見込まれる段階で事前に補修などの対策を行う考え方（予防保全）を積極的に取り入れ、計画的な保全による長寿命化を推進します。

③効率的・効果的な維持管理・運営

保有量の最適化や計画的な保全の推進とあわせて、業務内容の見直しや公民連携手法の導入、省エネルギー対策の推進等により、施設にかかる維持管理・運営コストの縮減を図ります。

実施方針

①保有量の最適化

ⅰ施設情報の把握

ⅱ既存施設の有効活用

ⅲ再編（統合・廃止・複合化等）の推進

②計画的な保全による長寿命化の推進

ⅰ点検・診断等の実施

ⅱ計画的な保全の実施（個別施設計画の策定と継続的な見直し）

ⅲ耐震性の確保

ⅳユニバーサルデザイン化の推進

ⅴ脱炭素化の推進

③効率的・効果的な維持管理・運営に向けた実施方針

ⅰ利用頻度が低い財産の処分

ⅱ公民連携と町民との協働

ⅲ広域連携

３．越前町体育施設個別施設計画の位置付け

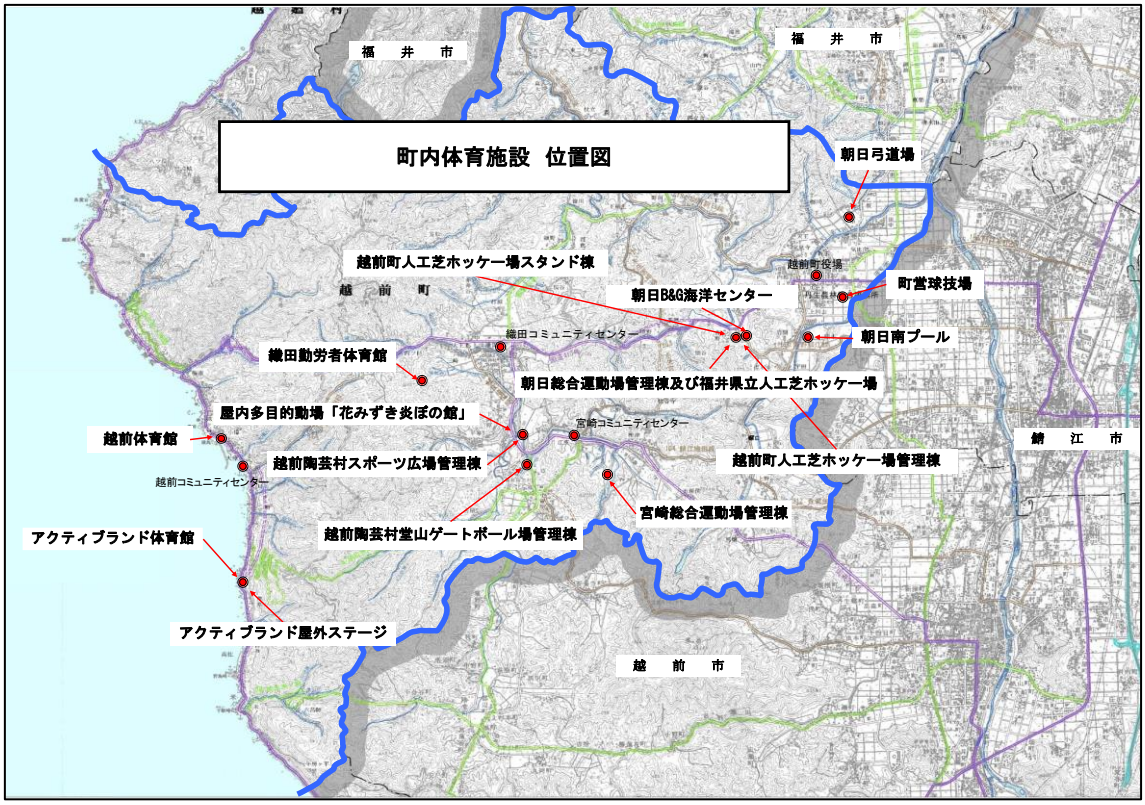
最上位計画である「越前町総合振興計画」を公共施設のマネジメントの上で下支えする

「越前町公共施設等総合管理計画」が、本町全体の公共施設等の管理の方向性を示した行動計画として位置付けられており、「越前町体育施設個別施設計画」は「越前町公共施設等総合管理計画」を上位計画とした建築系施設の施設類型別の個別施設計画として位置付けるものです。

第２章　越前町体育施設個別施設計画の対象施設、計画期間

１．越前町各体育施設の概要

（１）施設の配置



本町における体育施設は体育館、グラウンド、プールのスポーツ施設等３つの中分類に分けられます。本町には体育施設として朝日地区に７施設、宮崎地区に４施設、越前地区に３施設、織田地区に１施設あります。

町内体育施設は、町民のスポーツ振興と心身の健全な育成を図るための施設です。本町はスポーツの場を提供し、様々な競技を学ぶ各種教室の開講やスポーツ備品の貸出など、スポーツ振興のための施設予約や維持管理に関する業務を行っています。

２．対象施設の類型、一覧表

越前町公共施設等総合管理計画における公共施設のうち「体育施設」の類型に位置付けられている施設は以下のとおりです。

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積(㎡)	管理
朝日 B&G 海洋センター	朝日 22-35	昭和 58 年 4 月	RC	1	2,125	公社
アクティブランド体育館	厨 71-326-1	平成 5 年 3 月	RC	2	2,109	町
越前体育館	梅浦 60-1-2	昭和 52 年 3 月	RC	2	784	町
織田勤労者体育館	下河原 37-16-6	昭和 62 年 4 月	SRC	1	1,063	町
町営球技場	上川去 11-1-1	平成 10 年 9 月	RC	2	956	公社
朝日総合運動場管理棟及び 福井県立人工芝ホッケー場	内郡 42-17-4	昭和 58 年 3 月	RC	2	788	公社
越前町人工芝ホッケー場スタンド棟	内郡 42-8	昭和 23 年 5 月	RC	2	1,437	公社
越前町人工芝ホッケー場管理棟	内郡 42-8	平成 22 年 6 月	S	2	675	公社
朝日弓道場	天宝 3-3	平成 5 年 3 月	W	1	414	町
宮崎総合運動場管理棟	樫津 82-1、2	昭和 60 年 2 月	RC	2	385	町
越前陶芸村堂山ゲートボール場管理棟	小曽原 119-1-40	昭和 60 年 3 月	W	1	106	町
屋内多目的運動場「花みずき炎ぼの館」	小曽原 5-30	平成 13 年 2 月	SRC	1	1,343	町
越前陶芸村スポーツ広場管理棟	小曽原 3-22	昭和 56 年 12 月	W	1	93	町
アクティブランド屋外ステージ	厨 71-326-1	平成 7 年 4 月	RC		184	町
朝日南プール	佐々生 33-9	昭和 47 年 8 月	CB	1	522	町

構造　RC：鉄筋コンクリート造　SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造　S：鉄骨造　CB：コンクリートブロック
W:木造

管理　町:越前町　公社：(一財) 越前町公共施設管理公社

３．計画期間

本町が保有する公共施設は昭和 50 年代以降に集中して整備しており、建築後、木造は約 20 年から 30 年、鉄筋コンクリート造は約 50 年で大規模改修や建替えが必要とされています。また、人口減少が顕著である本町にとって、保有する全ての公共施設を維持管理していくことは困難になります。

そのうえで、越前町総合振興計画の進捗状況や人口の推移、社会経済情勢、財政状況を勘案する必要もあることから、令和 5 年度から令和 44 年度までの 40 年間を計画期間とし、5 年毎に計画の見直しをしていきます。

第３章　各体育施設の現状と課題

１．施設概要および人口の推移と将来推計

（１）体育施設

・越前町管理施設開館時間等

開館時間	午前 8 時 30 分から午後 10 時まで
休館日	・年末年始（12 月 28 日から 1 月 4 日まで）

・越前町管理公社管理施設開館時間等

開館時間	午前 8 時 30 分から午後 10 時まで
休館日	・毎週火曜　・年末年始（12 月 28 日から 1 月 4 日まで）

○朝日地区

・施設概要

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積(㎡)	備考
朝日 B&G 海洋センター	朝日 22-35	昭和 58 年 4 月	RC	1	2,125	公社
町営球技場	上川去 11-1-1	平成 10 年 9 月	RC	2	956	公社
朝日総合運動場管理棟及び 福井県立人工芝ホッケー場	内郡 42-17-4	平成 13 年 3 月	RC	2	788	公社
越前町人工芝ホッケー場スタンド棟	内郡 42-8	平成 23 年 5 月	RC	2	1,437	公社
越前町人工芝ホッケー場管理棟	内郡 42-8	平成 22 年 6 月	S	2	675	公社
朝日弓道場	天宝 3-3	平成 5 年 3 月	W	1	414	町
朝日南プール	佐々生 33-9	昭和 47 年 8 月	CB	1	522	町

朝日 B&G 海洋センターは、年間約 250 日稼働しており、約 5,500 人/年の利用者があります。定期利用者も多く、また、隣接されているホッケー場で試合がある際は控室としても使われていることや、夏休み期間の屋外プール一般開放などにより、利用者が多くなっています。

町営球技場野球場では、野球やソフトボール、グラウンドゴルフ等、また、隣接する多目的グラウンドでは、サッカーなどの様々な競技に約 12,000 人/年の利用者があります。

朝日総合運動場管理棟及び福井県立人工芝ホッケー場はホッケー場、ゲートボール場、テニスコートを有しており、約 37,000 人/年の利用者があります。ホッケー場は、競技団体の日々の練習から、様々なホッケー大会の会場としても多く利用されています。また、越前町人工芝ホッケー場スタンド棟は、ホッケー競技の大会などで約 17,000 人/年の観客の方に利用されています。さらに、ゲートボール場やテニスコートでは、町内団体の定期練習や様々な大会が行われています。

越前町人工芝ホッケー場管理棟は、おもに大会等の本部として、また雨天時の待機場所や冬季期間の屋内練習場所として約 3,000 人/年の利用者があります。

朝日弓道場は、定期利用者が多いため稼働日数は多く、インターハイの時期には、丹生高等学校弓道部が練習場としても多く利用されるため、約 1,700 人/年の利用者があります。

朝日南プールは、おもに夏休み期間中の一般開放で約 20 日間の稼働となっています。

○宮崎地区

・施設概要

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積(㎡)	備考
宮崎総合運動場管理棟	樫津 82-1,2	昭和 60 年 2 月	RC	2	385	町
堂山ゲートボール場管理棟	小曽原 119-1-40	昭和 60 年 3 月	W	1	106	町
屋内多目的運動場「花みずき炎ぼの館」	小曽原 5-30	平成 13 年 2 月	SRC	1	1,343	町
陶芸村スポーツ広場管理棟	小曽原 3-22	昭和 56 年 12 月	W	1	93	町

宮崎総合運動場管理棟には、地区の運動会で使用されていた備品等の保管施設として活用しているため、年間の施設利用者はありません。

堂山ゲートボール場管理棟は、現在、地域団体が所有する獣害対策資材の保管施設として活用されているため、年間の施設利用者はありません。

屋内多目的運動場「花みずき炎ぼの館」は、経年劣化等のよる雨漏りや、グラウンド面は全体的に凹凸があり、競技等には支障がある状態です。現在も約 3,500 人/年の利用者があるため、施設の修繕が課題となっています。

陶芸村スポーツ広場管理棟は、越前陶芸まつりに使用する備品等の保管施設として活用されているため、年間の施設利用者はありません。

○越前地区

・施設概要

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積(㎡)	備考
アクティブランド体育館	厨 71-326-1	平成 5 年 3 月	RC	2	2,109	町
越前体育館	梅浦 60-1-2	昭和 52 年 3 月	RC	1	784	町
アクティブランド屋外ステージ	厨 71-326-1	平成 7 年 4 月	RC	1	184	町

アクティブランド体育館は、バレーボール競技の大会や練習で多く利用されています。また、地域の行事等にも利用されており、約 1,300 人/年の利用者があります。

越前体育館は、施設の老朽化による床板の破損や雨漏りなどの破損個所が多いため、今後は廃止を含めた検討が必要となっています。

アクティブランド屋外ステージは、転落事故が発生する恐れがあり、現在は使用禁止となっています。今後の利活用について検討が必要となっています。

〇織田地区

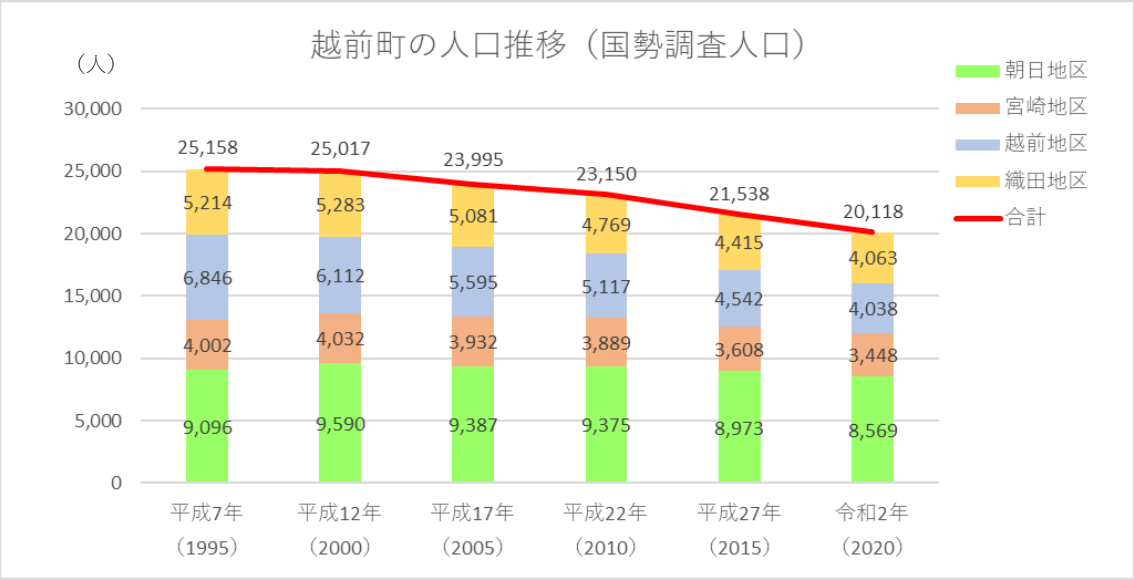
・施設概要

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積(㎡)	備考
織田勤労者体育館	下河原37-16-6	昭和62年4月	SRC	1	1,063	町

織田勤労者体育館は、バスケットボールコート1面、バレーボールコート2面、バドミントンコート6面の規模で、様々な競技に対応できるため約8,400人/年と多くの利用者があります。

○各地区の人口の推移と将来推計

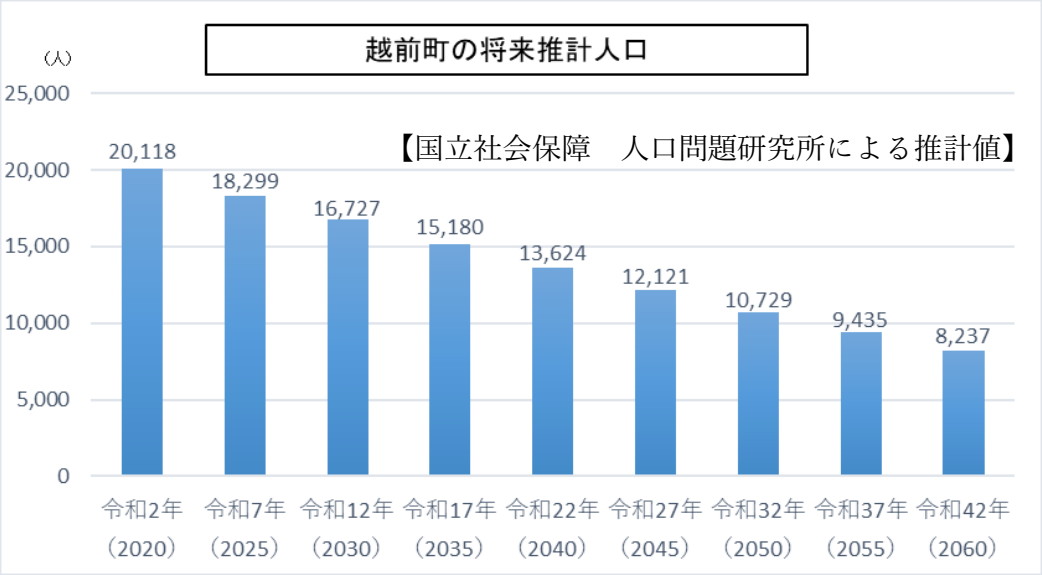
<各地区の人口の推移>



越前町の人口は、合併前は約 25,000 人で推移していましたが、平成 17 年 2 月の合併後、急速に人口減少が進み、令和 2 年国勢調査では 20,118 人にまで減少しています。

全ての地区で人口減少が見られますが、特に旧越前町では平成 7 年から令和 2 年の 25 年間で人口が 58.9%にまで減少しており、他地区に比べて人口減少が顕著となっています。

<人口の将来推計>



越前町の人口の将来推計は、国立社会保障　人口問題研究所の推計によると、更に町外への転出超過が顕著になることなどにより、令和 2 年から令和 42 年の 40 年間で、11,881 人減少（約 59%減少）すると推計されています。

２．施設利用状況

各施設の利用状況は下表のとおりとなっています。

【体育館】

施設名称	利用状況
朝日 B&G 海洋センター	利用者数：約 5,500 人／年
アクティブランド体育館	利用者数：約 1,300 人／年
越前体育館	利用者数：約 4,100 人／年
織田勤労者体育館	利用者数：約 8,400 人／年

【プール】

施設名称	利用状況
朝日南プール	利用者数：100 人／年

【グラウンド・スポーツ施設等】

施設名称	利用状況
町営球技場	利用者数：約 12,000 人／年
朝日総合運動場管理棟及び 福井県立人工芝ホッケー場	利用者数：約 37,000 人／年
越前町人工芝ホッケー場 スタンド棟	利用者数：約 17,000 人／年
越前町人工芝ホッケー場 管理棟	利用者数：約 3,000 人／年
朝日弓道場	利用者数：約 1,700 人／年
宮崎総合運動場管理棟	利用者数：－
越前陶芸村堂山ゲートボール場 管理棟	利用者数：－
屋内多目的運動場 「花みずき炎ぼの館」	利用者数：約 3,500 人／年
越前陶芸村スポーツ広場管理棟	利用者数：－
アクティブランド屋外ステージ	利用者数：閉鎖中

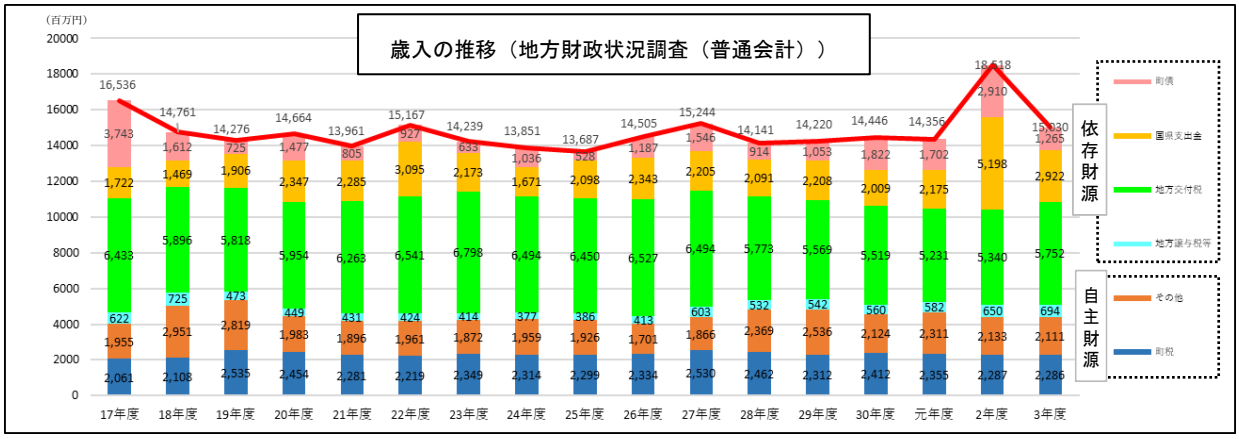
本町の体育施設は、貸出時間を午前・午後・夜間に区切っていることや、様々な競技に対応した施設があるので、利用者のニーズに応えやすく、町内外の方に広く利用されています。

３．財政状況

〈歳入の推移〉

令和３年度の歳入総額は、約 150 億円となっており、平成 17 年２月の町村合併後は概ね 140～150 億円で推移しています。

歳入全体として、地方交付税など依存財源の占める割合が高く、近年では約７割を占めています。これまでは、合併による普通交付税の合併算定替により、合併後の財政需要増加に伴う財源不足を補ってきましたが、平成 27 年度からその増額分が段階的に縮減され、令和元年度に合併算定替が終了しました。また、急速に進む人口減少による町税の収入減により、本町の歳入は、現在より減少していくことが予想されます。



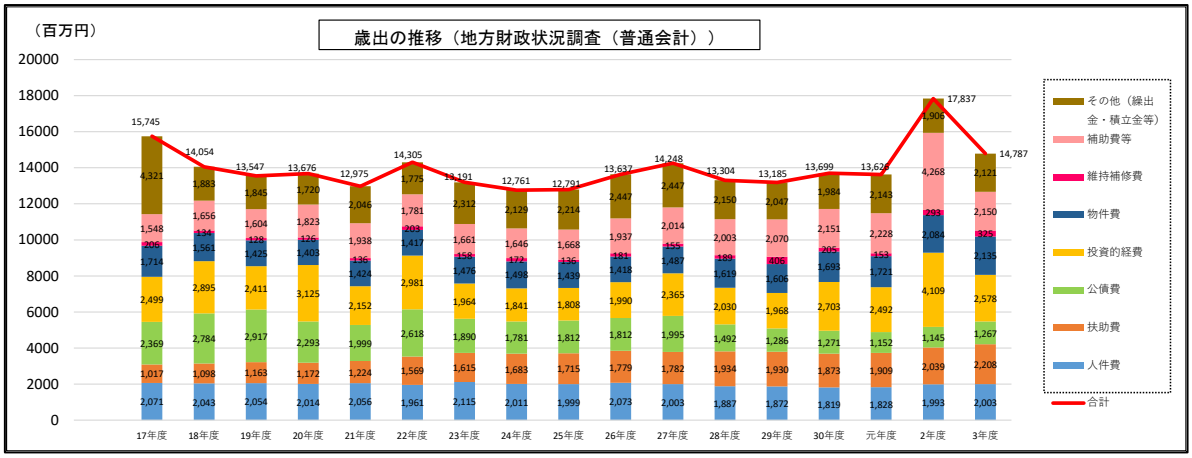
〈歳出の推移〉

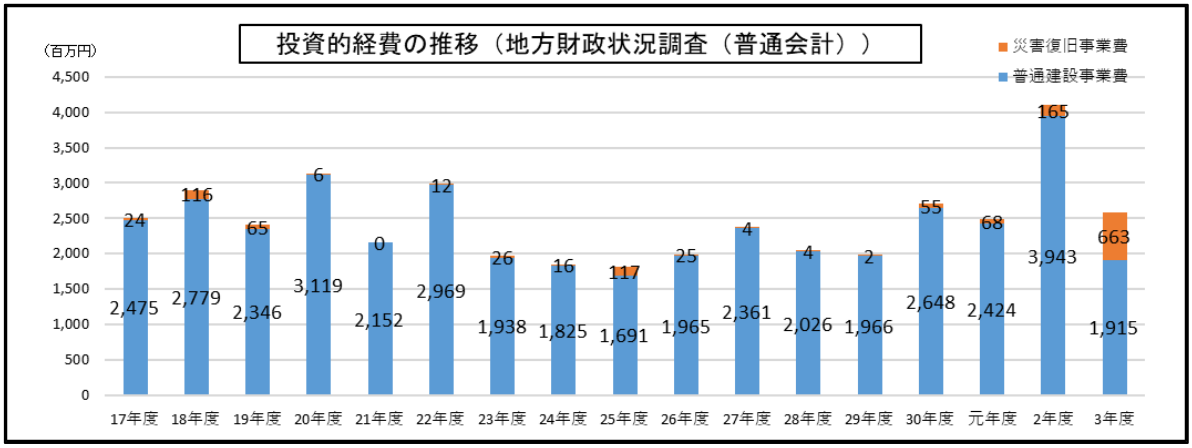
令和 3 年度の歳出総額は約 148 億円となっており、平成 17 年 2 月の町村合併後は概ね 130 億～140 億円で推移しています。

歳出全体として、近年は高齢化の進展やこれに伴う社会保障制度の充実により、扶助費が増加傾向にある他、各種団体への補助金や負担金の増に伴い補助費等が増加傾向にあります。

また、社会資本の整備に要する経費である投資的経費の内訳をみると、各コミュニティセンターなどの庁舎、朝日中学校や統合学校給食センターなどの学校施設、あさひ保育所等の児童福祉施設などの公共施設の整備をはじめ、道路や公園などのインフラ施設等の新増設等である普通建設事業費に毎年バラツキはあるものの平均すると毎年約 23 億円投資してきています。

これら公共施設等の維持補修には、今後、より多くの費用が必要になると予想されることから、施設の維持管理・更新等を適正に推進していくことが必要です。





４．各体育施設の施設維持管理経費の推移

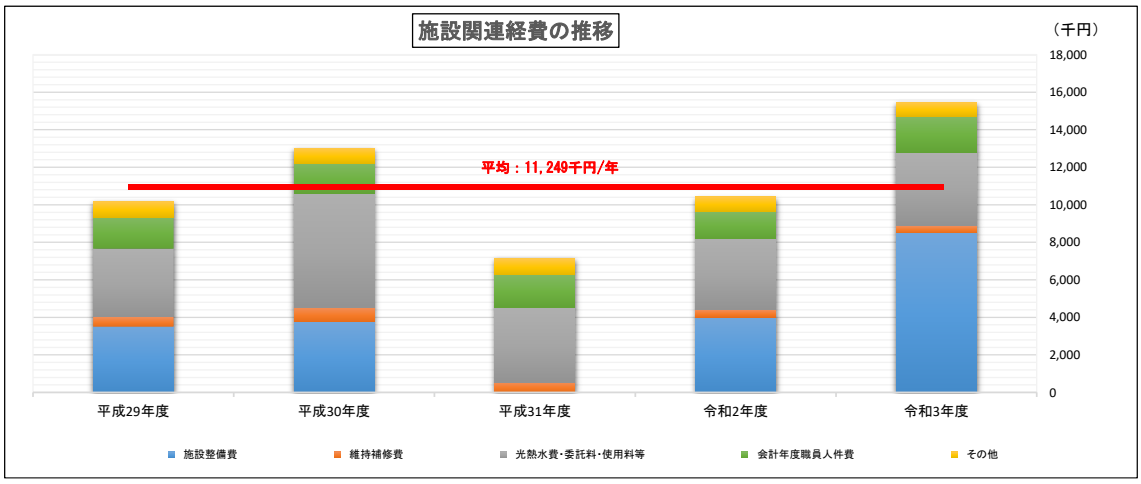
≪体育館（屋内施設）≫

平成 29 年度から令和 3 年度の 5 年間における体育館（屋内施設）の施設関連経費（整備・維持管理経費）は、約 7,143 千円から約 15,453 千円となっており、5 年間の平均は約 11,249 千円となっており、おもに施設整備費や光熱水費などの経費が大部分を占めています。

〈体育館の施設関連経費の内訳〉

（単位：千円）

経　費　内　訳	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	合計	平均
施設整備費	3,499	3,766	0	4,000	8,500	19,765	3,953
維持補修費	518	758	559	408	384	2,627	525
光熱水費・委託料・使用料等	3,644	6,061	3,980	3,781	3,929	21,395	4,279
会計年度職員人件費	1,681	1,613	1,744	1,466	1,902	8,406	1,681
その他	843	830	860	783	738	4,054	811
合　計	10,185	13,028	7,143	10,438	15,453	56,247	11,249



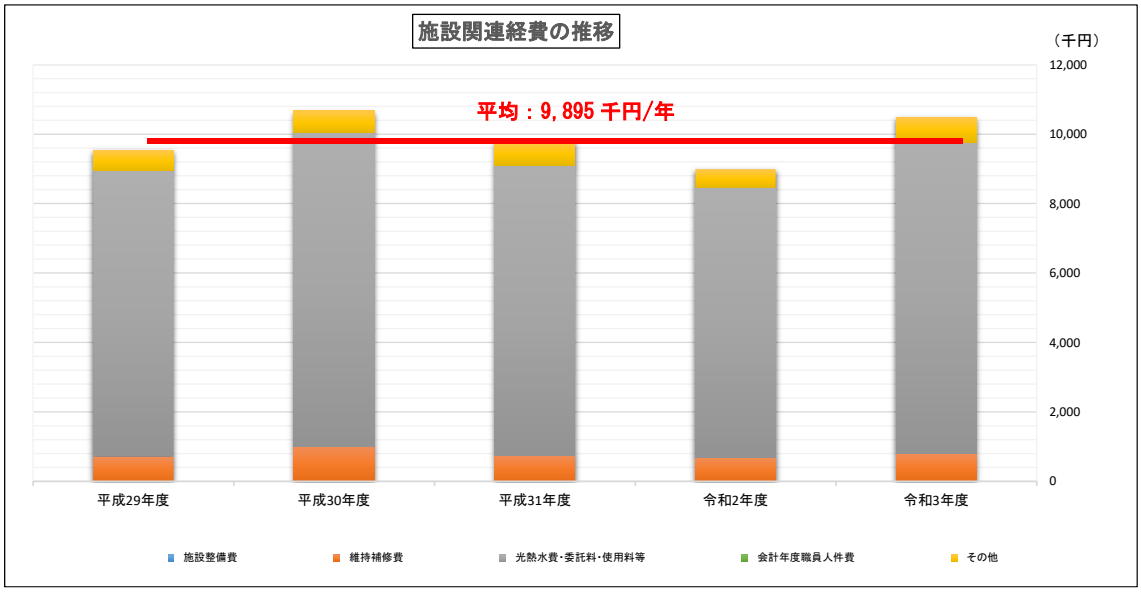
≪グラウンド等（屋外施設）≫

平成 29 年度から令和 3 年度の 5 年間におけるグラウンド（屋外施設）の施設関連経費（整備・維持管理経費）は、約 8,992 千円から約 10,669 千円となっており、5 年間の平均は約 9,895 千円となっており、おもに光熱水費・委託料など経常的な経費が大部分を占めています。

〈グラウンド等（屋外施設）の施設関連経費の内訳〉

（単位：千円）

経　費　内　訳	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	合計	平均
施設整備費	0	0	0	0	0	0	0
維持補修費	711	1,010	747	694	790	3,952	790
光熱水費・委託料・使用料等	8,232	9,031	8,360	7,757	8,976	42,356	8,471
会計年度職員人件費	0	0	0	0	0	0	0
その他	590	628	687	541	719	3,165	633
合　計	9,533	10,669	9,794	8,992	10,485	49,473	9,895



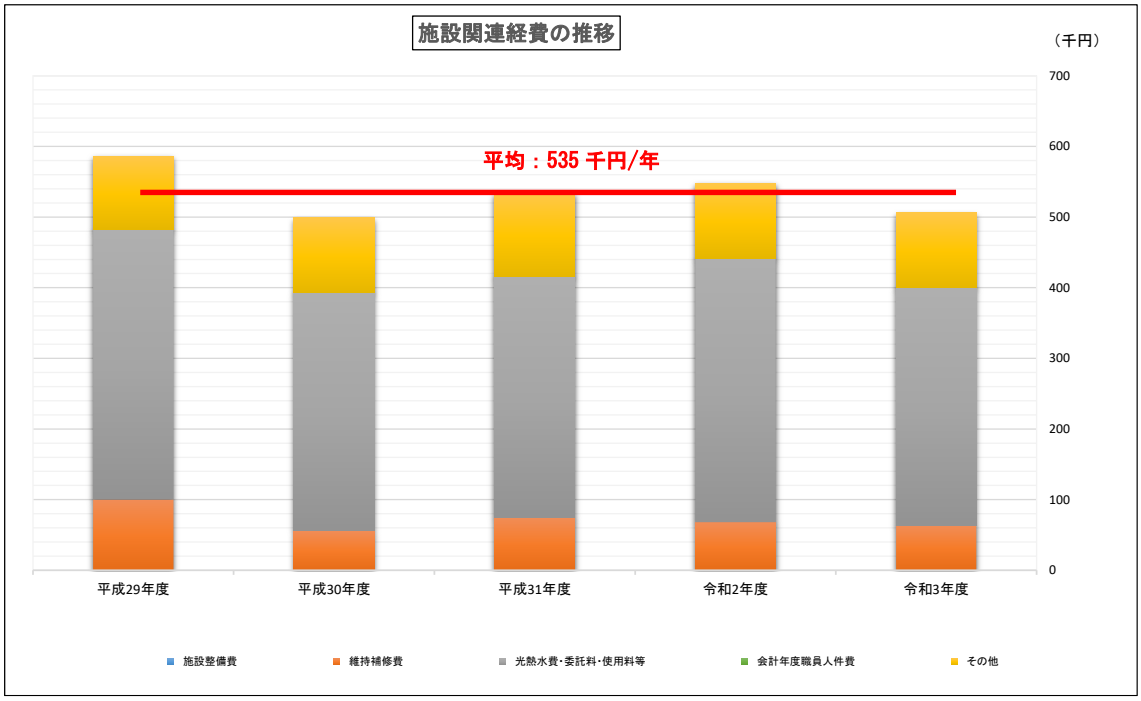
≪プール≫

平成 29 年度から令和 3 年度の 5 年間におけるプールの施設関連経費(整備･維持管理経費)は、約 499 千円から約 586 千円となっており、5 年間の平均は約 535 千円となっており、おもに光熱水費・委託料などの経常的な経費が大部分を占めています。

〈プールの施設関連経費の内訳〉

（単位：千円）

経　費　内　訳	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	合計	平均
施設整備費	0	0	0	0	0	0	0
維持補修費	100	56	75	68	64	363	73
光熱水費・委託料・使用料等	383	337	341	374	336	1,771	354
会計年度職員人件費	0	0	0	0	0	0	0
その他	103	106	118	106	106	539	108
合　計	586	499	534	548	506	2,673	535



第４章　対策の優先順位の考え方および評価

１．簡易劣化調査の実施結果

簡易劣化調査の実施結果の詳細は別紙のとおりとなっています。(施設カルテ（体育施設）参照)

≪朝日 B&G 海洋センター≫

施設評価シートによると、朝日 B&G 海洋センターは総合Ａ判定となっています。

品質評価は、令和元年度にバリアフリー化や更衣室、体育館床の改修工事を行うなど評価は高い。今後は、省エネ効果の高い LED 照明に更新することで、地球温暖化の防止及び脱炭素化社会の構築に寄与することと併せて、電気料金等の維持管理費に係る経費の削減が見込まれる。しかし、プールについては経年劣化等による破損個所があり、今後も継続的な施設維持に努める必要がある。

供給評価は、約 5,500 人/年の利用者があり、評価は高い。

財務評価は、おおむね平均的となっています。

≪アクティブランド体育館≫

施設評価シートによると、アクティブランド体育館は総合Ｃ判定となっています。

品質評価は、バリアフリー化や耐震対応施設となっているため高い。しかし、立地が海に隣接していることから、海水や砂の吹き込み等による劣化や不具合が多々生じるている。

供給評価は、定期利用者により約 1,300 人/年が利用しているが評価は低い。

財務評価は、利用者の多くが減免団体への利用となっているため、使用料金による収入は乏しく評価は低い。

今後の活用方法を検討して、継続的な施設維持に努める必要がある。

≪越前体育館≫

施設評価シートによると、越前体育館は総合Ｂ判定となっています。

品質評価は、老朽化による床板の破損や、雨漏りなどの破損箇所が多いため評価が低い。

供給評価は、施設の劣化による破損個所が多いなどの理由から、利用者数は年々減少しているため評価は低い。

財務評価は、利用者の多くが減免団体であるため、使用料金による収入は無く評価は低い。今後は廃止を含めた利活用方法を検討する必要がある。

≪織田勤労者体育館≫

施設評価シートによると、織田勤労者体育館は総合Ｂ判定となっています。

品質評価は、築年数 35 年が経過しており、老朽化による修繕箇所が多数あるため評価は低いが、照明設備は LED 照明に更新している。

供給評価は、施設の充実により約 8,400 人/年と多くの利用者があるが評価は低い。

財務評価は、利用者の多くが減免団体への利用となっているため、使用料金による収入は乏しく評価は低い。

今後の活用方法を検討して、継続的な施設維持に努める必要がある。

≪町営球技場≫

施設評価シートによると、町営球技場は総合Ａ判定となっています。

品質評価は、築年数や劣化度点数の評価は高いため平均以上となっていますが、野球場の電光掲示盤故障やフェンスの破損している箇所などがあります。

供給評価は、約 12,000 人/年の利用者が訪れ、野球やソフトボールだけでなく、グランドゴルフなど様々な競技目的にも利用されています。

財務評価は、利用者の多くが減免団体への利用となっているため、使用料金による収入は乏しく評価は低い。

今後の活用方法を検討して、継続的な施設維持に努める必要がある。

≪朝日総合運動場管理棟及び福井県立人工芝ホッケー場≫

施設評価シートによると、朝日総合運動場管理棟及び福井県立人工芝ホッケー場は総合Ｂ判定となっています。

品質評価は、経年劣化等による修繕箇所が多くあるため評価は低く、県立ホッケー場は人工芝の張替え更新や、ナイター照明施設の LED 化への更新が必要です。また、テニスコートについては小規模修繕をその都度おこなっているが、今後はコート面の大規模な修繕が必要である。

供給評価は、ホッケー競技による利用者が多く、施設全体では約 37,000 人/年の利用者があり評価は高い。

財務評価は、利用者の多くが減免団体への利用となっているため、使用料金による収入は乏しく評価は低い。

今後の活用方法を検討して、継続的な施設維持に努める必要がある。

≪越前町人工芝ホッケー場スタンド棟≫

施設評価シートによると、越前町人工芝ホッケー場スタンド棟は総合Ａ判定となっています。

品質評価は、築年数約 10 年と比較的新しい建物であるため修繕箇所も少なく評価は高い。

供給評価は、定期利用の団体による頻度も多いことから評価は高い。

財務評価は、利用者の多くが減免団体への利用となっているため、使用料金による収入は乏しく評価は低い。

今後の活用方法を検討して、継続的な施設維持に努める必要がある。

≪越前町人工芝ホッケー場管理棟≫

施設評価シートによると、越前町人工芝ホッケー場管理棟は総合Ａ判定となっています。

品質評価は､築年数約 10 年と比較的新しい建物であるため修繕箇所も少なく評価は高い。

供給評価は、定期利用の団体による頻度が多いことから評価も高い。

財務評価は､利用者の多くが減免団体への利用となっているため､使用料金による収入は乏しく評価は低い。

今後の活用方法を検討して、継続的な施設維持に努める必要がある。

≪朝日弓道場≫

施設評価シートによると、朝日弓道場は総合Ｃ判定となっています。

品質評価は、築年数 30 年が経過しているが、目立った修繕箇所はなく比較的良好であるため評価は高い。今後はバリアフリー対応の改修工事が必要である。

供給評価は、約 1,700 人/年の利用がありますが、団体利用が少なく評価は低い。

財務評価は､利用者の多くが減免団体への利用となっているため､使用料金による収入は乏しく評価は低い。

今後の活用方法を検討して、継続的な施設維持に努める必要がある。

≪宮崎総合運動場管理棟≫

施設評価シートによると、宮崎総合運動場管理棟は総合Ｄ判定となっています。

品質評価は、経年劣化等による施設の修繕箇所が多くあるため、評価は低い。

供給評価は、年間を通して管理棟の利用者がないため評価は低い。

財務評価は、土地使用料や施設維持に係る委託費、光熱水費となっているが、使用料による収入がないため評価は低い。今後は施設の廃止・撤去等を検討していく必要がある。

≪越前陶芸村堂山ゲートボール場管理棟≫

施設評価シートによると、越前陶芸村堂山ゲートボール場管理棟は総合Ｄ判定となっています。

品質評価は、築年数 37 年が経過しており、施設の壁や扉の隙間などの破損があり評価は低い。

供給評価は、ゲートボール利用者はなく、小曽原水・土・里を守る会の獣害対策資材を保管する場所として活用され評価は低い。

財務評価は､維持管理費にかかっている支出はないが､使用料による収入もないため評価は低い。今後は施設の撤去等を検討していく必要がある。

≪屋内多目的運動場「花みずき炎ぼの館」≫

施設評価シートによると、屋外多目的運動場「花みずき炎ぼの館」は総合Ｃ判定となっています。

品質評価は、比較的新しい施設であることからの評価は高くなっていますが、グラウンド面の定期的な補修や、天井部の雨漏り、出入口扉などの修繕が必要である。

供給評価は、雨天時や降雪時期に多く利用があるが、グラウンド面の状態が悪いため利用者が減少していることから評価は低い。

財務評価は、利用者の多くが減免団体への利用となっているため、使用料金による収入は乏しく評価は低い。

今後の活用方法を検討して、継続的な施設維持に努める必要がある。

≪越前陶芸村スポーツ広場管理棟≫

施設評価シートによると、越前陶芸村スポーツ広場管理棟は総合Ｄ判定となっています。

品質評価は、築年数 40 年以上の経過による老朽化で、破損・腐食箇所があるため評価は低い。

供給評価は、現在、備品等の保管場所としてのみ利用されており、一般利用者が使用することはないため評価は低い。

財務評価は、光熱水費に係る支出のみであるが、使用料による収入もないため評価は低い。

今後は施設の廃止・撤去等を検討していく必要がある。

≪アクティブランド屋外ステージ≫

施設評価シートによると、アクティブランド屋外ステージは総合Ｃ判定となっています。

品質評価は、築年数が比較的新しく、特に劣化している箇所もないため評価は高い。

供給評価は、転落事故が発生した事例があり、また利用要望もなく、現在は使用禁止としているため評価は低い。

財産評価は、現在、維持管理費に係る支出はなく、使用料による収入もない状態である。

今後は廃止を含めた利活用方法を検討する必要がある。

≪朝日南プール≫

施設評価シートによると、朝日南プールは総合Ｄ判定となっています。

品質評価は、築年数 49 年が経過し、経年劣化による修繕箇所も目立っていることから評価は低い。

供給評価は、夏休み期間中の一般開放を 20 日間程度おこなっているのみで評価は低い。

財務評価は、プール開放に係る経費に対して、使用料収入はないため評価は低い。今後は施設の廃止・撤去等を検討していく必要がある。

２．優先順位の考え方および評価

施設改修等の対策の優先順位は、評価指標の高いものうち、総合劣化度（築年数、構造、現況劣化度）の高いものを優先して改修していくこととします。

また、現況劣化度については、部位（建築、電気、機械、その他）毎に第一階層、第二階層、第三階層を振り分け、それぞれ目視または設備の超過年数によりＡからＤ判定し、部位の重要度を掛け合わせて劣化点を算出します。その上で、施設の用途別乗率を掛け合わせて建物劣化度としています。

別表

分類	第一階層	第二階層	重要度係数	第三階層
建物全体(棟)	建築	躯体	杭	×1	床
					パラペット
					ルーフドレイン
					屋上雑
			地下躯体	×1	
		外部仕上げ	屋根・屋上	×0.5	外壁(東西南北)
			外壁	×0.5	外部サッシ(東西南北)
					ドア・シャッター・ガラリ
			外部開口部	×0.25	
			外部天井	×0.5	庇・軒天(東西南北)
					床(東西南北)
			外部床	×0.25	外壁雑
			外部雑	×0.25	ポーチ(床壁・軒天)
					バルコニー(床壁・軒天)
					外階段
		内部仕上げ	内部床	×0.25	床
			内部壁	×0.25	壁
			内部天井	×0.25	天井
			内部開口部	×0.25	内部建具
					内部雑
			中間財	×0.25	電力引込
			内部雑	×0.25	特高受電
					高圧受電
					自家発電
	電気	電気設備	受変電設備	×1	
			幹線設備	×1	高圧幹線
					低圧幹線
			動力・電灯・コンセント	×0.5	動力
					電灯コンセント
					照明器具
					外灯
			通信設備	×0.5	放送・インターホン
					テレビ共聴
					電話引込
			防災設備	×1	自動火災報知器
					避雷針
					防排煙連動
			中央監視設備	×0.5	中央監視設備
			その他設備	×0.25	その他設備
	機械	給排水衛生設備	給水設備	×0.5	給水引込
					受水槽
					ポンプ
					配管・外部給水
			給湯設備	×0.25	給湯機器
					配管
			排水設備	×0.5	下水本管接続
					受水槽・排水ポンプ
					排水通気
			衛生器具設備	×0.25	流し類
					身障者用トイレ
					ハンドドライヤー
					衛生器具
			ガス設備	×1	都市ガス
					LPG
			消火設備	×1	消火栓設備
					スプリンクラー・連結送水管
					不活性ガス・泡消火
			その他設備	×0.25	プール循環ろ過機
		空気換気排煙設備	熱源設備	×0.5	冷凍機・冷温水器
					冷却塔・ボイラー
					熱交換器・ポンプ
					槽・タンク類・蓄熱槽・煙道
			空調機器設備	×0.5	空調機
					ファン類
					全熱交換機
			ダクト設備	×0.5	ダクト
					吸出口・吸込口
			配管設備	×0.5	冷温水
					冷却水
			換気設備	×0.5	ファン類
					ダクト
			排煙設備	×1	排煙ファン
					排煙ダクト
			自動制御	×0.5	方式・制御システム
	その他設備		昇降機設備	×0.5	エレベーター
					小荷物専用昇降機
			機械駐車設備	×0.25	機械式駐車場

３．現況劣化度および重要度、建物劣化度

現況劣化度については、劣化状況の評価基準を下記のとおりＡからＤ評価とし、劣化点を算出します。その上で、部位の重要度の判断基準を大・中・小で振分し、それぞれを掛け合わせて加算したものを現況劣化度としています。

建物劣化度は、現況劣化度に対象となる施設の重要度を用途Ⅰから用途Ⅲに振分し、掛け合わせたうえで、施設の延べ床面積を再度乗じて算出しています。

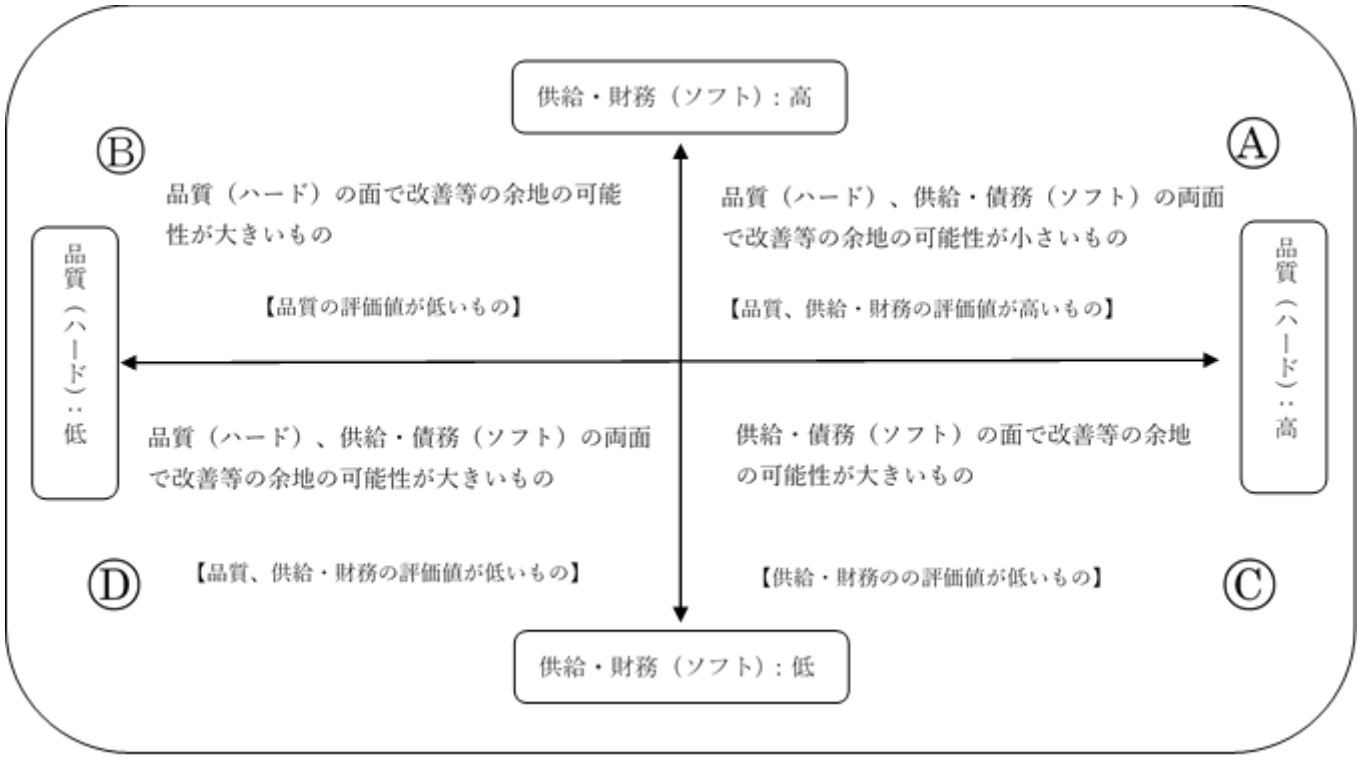
	劣化状況の評価基準		劣化点
	建築	設備	
Ａ評価	概ね良好	標準耐用年数に基づく更新年数以内	10点
Ｂ評価	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上は問題なし	超過年数が10年以内	40点
Ｃ評価	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	超過年数が20年以内	70点
Ｄ評価	劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある	超過年数が20年超	100点

部位の重要度の判断基準		重要度係数
大	特に安全性に関わる部分（躯体、屋上、外壁等）	1.00
中	計画保全が望ましい部位（外部開口部、電気設備、空調設備等）	0.50
小	事後保全でよい部位（給排水、その他外部内部設備等）	0.25

重要度	対象施設	係数
用途Ⅰ	庁舎、各コミュニティセンター、生涯学習センター等の災害拠点施設	1.50
用途Ⅱ	避難所等防災上重要な施設	1.25
用途Ⅲ	その他	1.00

４．総合劣化度

総合劣化度については、上記評価基準等に基づき、建物毎の建物劣化度を算出した上で、延べ床面積により割り戻しして算出しています。



朝日 B&G 海洋センターＡ判定。アクティブランド体育館Ｃ判定。越前体育館Ｂ判定。織田勤労者体育館Ｂ判定。町営球技場Ａ判定。朝日総合運動場管理棟及び福井県立人工芝ホッケー場Ｂ判定。越前町人工芝ホッケー場スタンド棟Ａ判定。越前町人工芝ホッケー場管理棟Ａ判定。朝日弓道場Ｃ判定。宮崎総合運動場管理棟Ｄ判定。越前陶芸村堂山ゲートボール場管理棟Ｄ判定。屋内多目的運動場「花みずき炎ぼの館」Ｃ判定。越前陶芸村スポーツ広場管理棟Ｄ判定。アクティブランド屋外ステージＣ判定。朝日南プールＤ判定でした。

第５章　対策内容と実施時期（実施計画）

１．対策の基本方針

◆長寿命化改修（大規模改修）の方針（40 年以上経過した建物）

建物を目標耐用年数まで利用するために、各部位のグレードアップや設備を更新して耐久性を高めます。また、施設を長く利用できるよう、室内環境の向上、脱炭素化、省エネルギー化、ユニバーサルデザインなどを検討し、実施していきます。更に、少子高齢化等の社会情勢や住民ニーズの変化に対応するために、施設機能の複合化などを実施していきます。

長寿命化のポイント

①耐久性の向上　②施設環境・質の向上　③新たな機能・複合化

具体的内容（中規模改修＋α）

【耐久性の向上】

中性化対策・鉄筋の腐食対策・かぶり厚のうちいずれか一つ以上、屋根・外壁仕上げ・塗装仕様のグレードアップ、電気・給排水管を現在の標準以上に更新、今後30年以上利用できる内装の更新等

【施設環境・質の向上】

脱炭素化や省エネルギー化を目的とした屋根・外壁、サッシの高断熱化、照明器具のLED化、日射遮蔽、ユニバーサルデザイン化等

【新たな機能・複合化】

多目的・オープンスペースの設置等

◆中規模改修の方針

建物の躯体と機能を保持するために、必要な部位や設備などについて改修します。機能向上については、可能な範囲で行っていきます。また、内部改修は劣化が激しい部分や緊急を要する部分を優先的に行います。

具体的内容

【耐久性の向上】

躯体のクラック・欠損対策、防水・外壁仕上げ・シーリング等の外部老朽化改修

【施設環境・質の向上】

寿命による空調設備等の更新、受変電発電設備の更新、給排水・防災避難設備の老朽化改修、エレベーターの更新改修等

【事後保全】

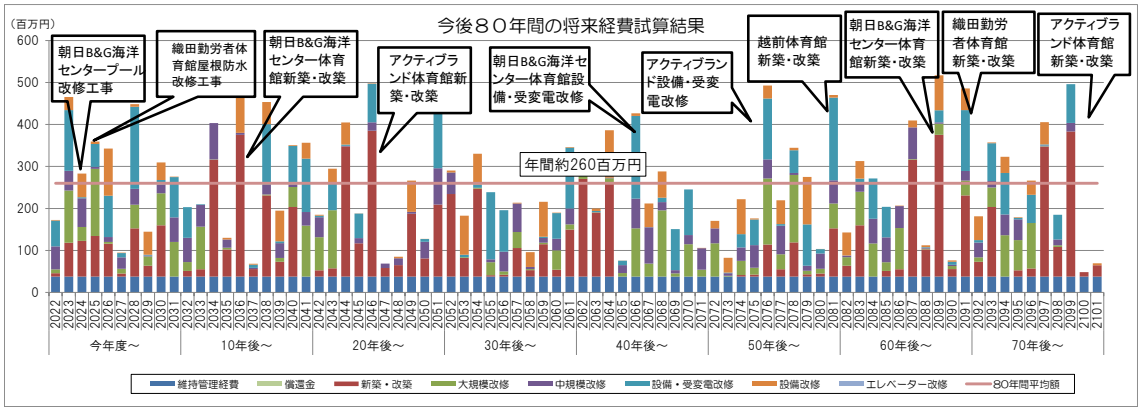
安全衛生上緊急を要する部分の改修、内部について

２．対策費用および効果、工程表

（１）対策費用および効果

現在ある体育施設を耐用年数毎（木造以外＝50 年周期、木造＝30 年周期）に単純に更新した場合に係る費用は下図のとおりとなっています。維持・更新費用として年間平均約 260 百万円必要となり、既存施設の老朽化により、2046 年は約 498 百万円/年、2089 年は約 517 百万円/年の更新経費が必要となります。

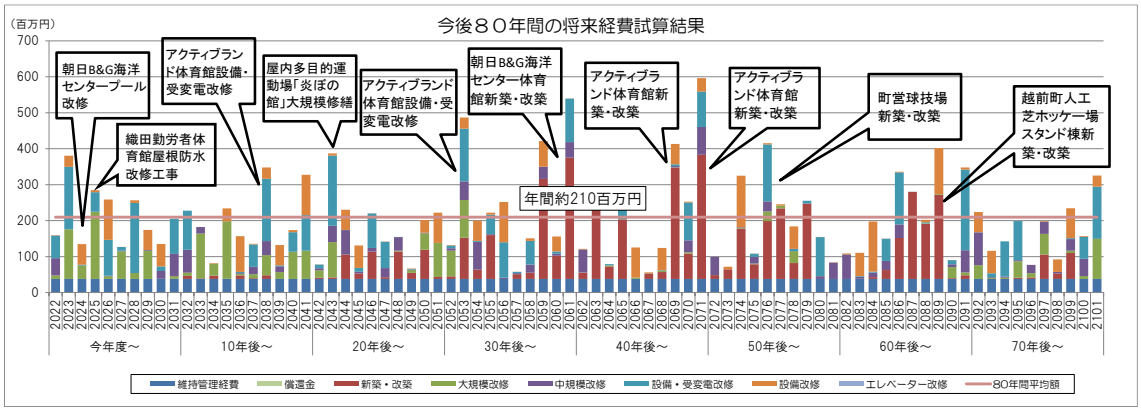
〈現在ある施設を耐用年数到達時に単純に同規模で建替えした場合の将来経費〉



※港区から提供を受けた公共施設将来経費試算ソフトを使い、越前町が過去に実施した新築工事、修繕工事にデフレーターをかけた単価から将来掛かる経費を推計しました。

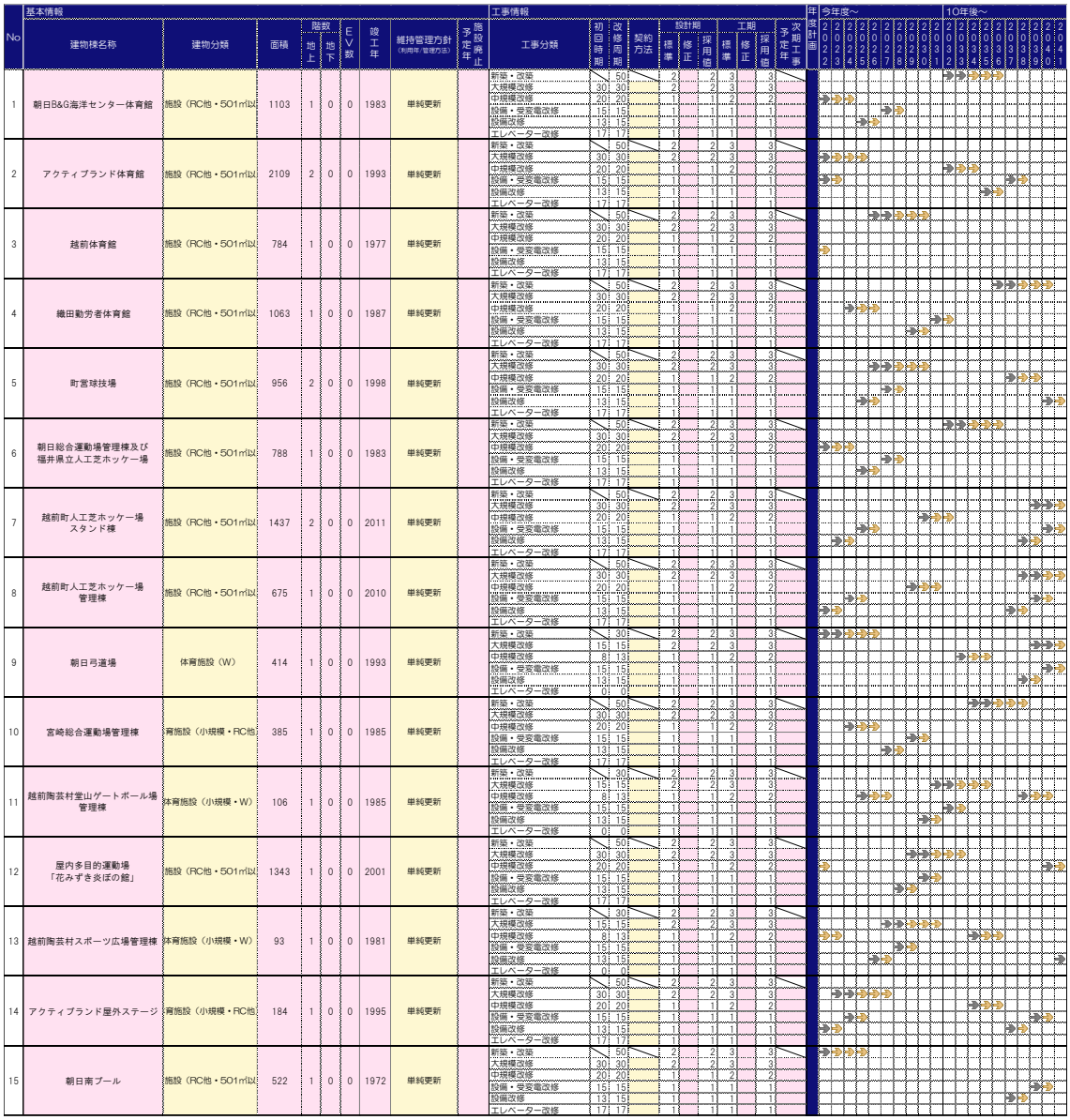
現在ある施設を予防保全しながら長寿命化した場合に係る費用は下図のとおりとなっています。維持・更新費用として平均 210 百万円/年が必要となり、単純更新した場合と比べ、50 百万/年ほど維持管理経費が圧縮できることとなります。

〈現在ある施設を予防保全しながら長寿命化した場合の将来経費〉



（２）工程表

施設の改修・更新計画の工程表は別紙のとおりとしますが、毎年行う施設の定期点検などにより判明した緊急を要する改修・修繕等については、施設の改修工程表を見直した上で対応することとします。（下図：更新計画工程表一部抜粋）



第６章　今後の対応方針等

１．今後の対応方針

町民の健康づくりや、余暇・レクリエーションの場として、また、スポーツを始めるきっかけづくりや競技力向上の機会を提供するために、スポーツ施設の役割は今後も必要としていますが、建物等の状況として、一部を除く多くの施設は築年数の経過による老朽化から、修繕箇所等が多数存在しています。また、施設照明の LED 化への更新や、耐震基準を満たしていない施設もあるなか、多くの体育館は災害時の避難所として位置づけられています。

本町のスポーツ施設を全般的にみると、各地区にある体育館やホッケー競技場は利用が多い一方、屋外施設で競技が限定される箇所については利用が少なく、さらに、堂山ゲートボール場や宮崎総合運動場等については、年間を通して利用が無い施設も存在しています。また、管理運営費に占める収入の割合が低いことなどが課題として挙げられ、今後は施設の統合・閉鎖などに係る整備計画や、運営方法に係る改善計画を見直し検討していく必要があります。

２．計画のフォローアップおよび実施体制

本計画は、各施設の所管課であるスポーツ振興課を中心に行っていきます。

また、計画期間中は毎年計画の実施内容や効果を精査するとともに、その内容を踏まえ、５年毎に見直しを行うこととします。

附　則

令和４年４月１日　策　定
令和５年４月１日　改　定
令和６年４月１日　改　定
令和７年４月１日　改　定